

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	シャイニー		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が連携して支援を行っていること	利用児の強みや困りに対しての情報を共有して、連携した支援を行っている	継続してスタッフ間での連携を高めていく
2	活動スペースや運動器具の充実	オーシャンスイングやスペースリングとという大型ブランコやマット等を利用し、楽しさの中に目的のある活動設定を行っている	違ったタイプのスイングも導入するなど、バリエーションの幅を増やしていきたい
3	アプリを利用した保護者への情報共有	可能な枚数の写真と一緒に記録を記入し、確認をしてもらっている	面談や活動見学時など情報共有や相談をしやすい環境作りを行っている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	十分な保護者対応の時間がとれていない	母子通所や送り迎えのある児の保護者に対しては、話をする時間を設けることができているが、事業所送迎の利用児の保護者と直背的な関わりが少なくなっている	個別面談の回数を増やすなどして、定期的な情報共有の場や家族支援の場を確保していく
2	地域との交流	事業所利用をあまり知られたくない保護者の方もいたり、個人情報についての配慮も必要となるため	希望者のみに声をかけたり案内を出すなどしてのイベント開催を検討していく
3	訓練やイベントの周知	対象となる児の保護者に対して連絡を行っていたため	全体周知を行い、実施していることを認識してもらう